

希望に向かって...



医療法人医誠会 介護老人保健施設
エスペラル近江八幡
 〒523-0071 滋賀県近江八幡市大房町 1002 番地 1
 TEL : 0748-32-1165 FAX : 0748-32-1190

らくはた楽トーク

vol.4



デイケア担当主任
 みずの ひろみ
水野 広美 より

エスペラル近江八幡設立時からデイケア（通所リハビリテーション）を担当しています。入職当初はデイサービスの日常生活支援、デイケアの機能訓練、この2つの違いも曖昧でしたが、デイケア独自の支援を学び気付くことで、充実したサービスを提供できるよう持ち前の積極性を発揮することができました。

まず利用時間について。利用者・家族さんの立場で考えると、時間の延長や短縮など個々に望まれていることがあるはずですが、施設主導で時間を決めるのではなく、柔軟に対応できるように体制を整えました。また、介護職兼務の相談員を配置し、要望に耳を傾ける姿勢を取りま

した。その甲斐もあって利用者は右肩上がりに増加し、様々な“声”にちゃんと応えることができた実感しました。老健施設の使命は在宅支援であり、デイケアも本来の意味を考えればいずれは利用を卒業してもらうことが理想です。これにはご本人はもちろん、ご家族や担当のケアマネージャーと共に明確な目標を立ててもらうことが必要で、例えば自宅の階段に登れるようになりたいとか、カンパレンス等を通じて目標と進捗を共有する仕組みを構築したいと考えています。また、卒業を促すべく老健施設から訪問リハに介入できないのかも検討中です。

当施設では50～100歳近い方が利用されていて、男性が多いことも特徴です。午前だけの利用でもしっかりお風呂に入ってもらっています。利用者さんの意思を尊重し、いい意味で自由に、気軽に利用してもらえるような雰囲気づくりを進めたいと考えています。

スタッフ募集中! 詳しくは採用担当者までお気軽にお問い合わせください

糖尿病教室

毎月第3木曜日の11時から
 (1時間程度)

糖尿病の症状や正しい食生活について、当院の内科医師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師・臨床検査技師・看護師等による講演です。

場所：当院 新会議室(2階)

- 5/19 理学療法士「楽しい運動療法 血糖値を効果的に下げる運動方法」
 管理栄養士「知っているようで意外と知らない!?食品のグループ分け」
- 6/16 小瀬木医師「糖尿病は合併症が怖い!!」
 管理栄養士「気をつけたい『さ・し・す・せ・そ』～調味料の使い方～」

参加費無料の全6回シリーズです。
 途中の回からでもお気軽にご参加ください。



お知らせ

近江八幡コース

シャトルバス増便しました

当院ではサービス向上の取組みとして、病院とJR近江八幡駅(北口)を結ぶ無料のシャトルバスの運行を開始いたしました。これに伴い、シャトルバスの時刻表を一部変更しております。詳しくは病院にてご確認ください。

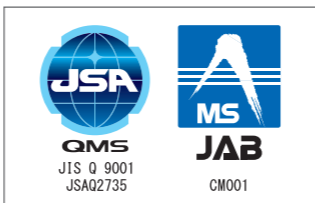
	B-8	B-11
病院	13:20	16:10
沙々真神社	○	○
安土駅	13:30	16:20
近江八幡駅北口(観光案内所前)	13:50	16:45
安土駅	14:10	
安土郵便局	○	
安土役場	○	
西老蘇	○	
病院	14:30	

診療科目 内科・外科・整形外科・皮膚科・耳鼻咽喉科・人工透析内科・人工透析室(38床)・リハビリテーション科・泌尿器科(休診中)

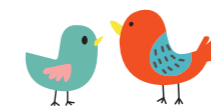
診察日 月～金 午前診察・午後診察 / 水・木は午後休診
 土 午前診察 ※日曜日・祝日は休診

診療時間 午前診察 9:00～11:30 / 午後診察 13:30～16:00

地域医療連携室 TEL: 0748-48-5558 FAX: 0748-48-5722
 広報責任者 山本 寛人



はなてんびん



Pick up photo



リハビリテーション科 神崎中央病院のリハビリテーション科は、回復期から生活期までベストな状態で在宅復帰できるように多職種と連携した取組みを得意としています。また、予防医療の大切さを地域の方々に提供すべく、公開講座や健康教室などを実施しています。



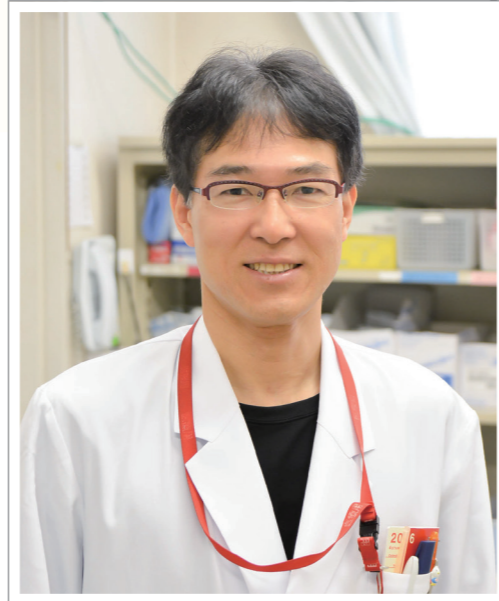
contents

- 神崎最前線：副院長就任のご挨拶
- 特集：リハビリテーション科のご紹介
- エスペラル近江八幡だより 希望に向かって... / 糖尿病教室 / お知らせ



副院長就任のご挨拶

こせき おさむ
内科医 小瀬木 理



新緑が眩しい季節になりました。
このたび、私こと、小瀬木 理は、4月1日付けで副院長の任を
拝命いたしましたので、御報告致します。今回、このような重職を
担うことになり、大変、身の引き締まる思いがしております。もとより
私は未熟者です。至らぬ点は、今後とも多々あるかと存じますが、
患者様のため、病院、地域のために、知恵を絞り、汗を流してゆく決意でございます。

どうぞ宜しくお願いします。

振り返れば、当院に就職して、はや3年。あっという間の3年間でした。私は、幸運にも入職当初から、大変
取り組み甲斐のある職務に就かせて頂きました。内科部長としての日々の診療に加え、感染対策委員会の主幹
メンバー、栄養サポートチームのメンバー、糖尿病教室の講師、電子カルテシステム運用委員会の医局代表者と、
院内の重要な職務を兼任させてもらう事ができました。多忙な中でも、仕事の喜び、職責を全うする喜びを、日々
感じる事ができました。病院には大変感謝しております。

さて、改めまして昨今の医療事情に目を転じてみますと、厳しい現実が目の前にあることには、気付かずには
おれません。高齢化社会は、ますます加速し、医療費の個人負担は増加の一途にあります。地域にあっては、
福祉政策が後回しにされています。これでは、疾患を持つ方も、お年寄りも安心して医療機関に掛かれません。
一方、病院業界にも厳しい風が吹いております。業界全体は収益率が減少しており、最近では、どの病院でも「安定
した経営」が声高に叫ばれています。「生き残りをかけた経営戦略」などという、およそ、この業界には不似合いな
言葉までもが飛び交う時代になりました。このような時代にあって、当院はどういうスタンスであるべきでしょうか、
どういう医療を提供してゆくべきなのでしょう、私なりに考えてみました。現時点での私の答えは、こうです。

それは、「奇を衒うのではなく、医療の王道のサービスを提供するということに尽きる」という答えです。こう
いう時代だからこそ、まずは、これまで通りの心のこもった医療は堅実に行なう。その上で、病院組織にあっては、
小さな改善・改良を、留まる事なく絶えず行なう。そういったコツコツ型の姿勢こそが、患者様から信頼され、
地域社会に貢献し、ひいては安定経営に繋がるのではないのでしょうか。そう考えております。

最後になりましたが、少々、私自身の自己紹介をしたいと思えます。専門分野は内科、内分泌代謝学。出身
は岐阜県、郡上八幡。趣味はエアロビクスダンスとジョギング。滋賀県の風光明媚なところと、県民の皆様の温厚
穏和な人柄に引かれ、9年前、志願してこの地に赴任してきました。現在でもこの滋賀が、特に、この東近江・近江
八幡地域が大好きです。5年前からは、この地の民俗・方言・古代史にも興味を持ち、独学を始めています。
(民俗歴史学に興味のある方、どうぞ御連絡ください。)

結びに、最近学んだ滋賀言葉の一つを使って、理想の医師像を表現させて下さい。例えば忙しい時。患者様
の繰り返しの質問などには、心疲れを感じることも正直あります。しかし、そんな時こそ、微笑みを持って接して
行きたいものです。

“身を病めば、心を病むを、知れる医師 せんのどの問いにも、答えて優し”

そんな医師に近づけるよう、これからも精進してまいります。



特集 リハビリテーション科のご紹介



神崎中央病院では、リハビリテーション科に所属する45人（H28.5月
現在）のスタッフが、入院・外来リハを実施しています。患者さんそれ
ぞれの今後の生活を想定し、何が必要かを考えながら介入しています。
また、ご家族面会をできるだけ多く実施し、患者さんのことを一緒に悩み、
喜び合える環境づくりにつとめています。

いまはま あきのり
所属長 作業療法士 今濱 瑛範



STから見た「神崎中央病院」のリハビリ

たかた むねのり
言語聴覚士 高田 宗則

■リハビリの介入

私の場合、脳損傷の影響で言葉が理解できない方、上手く話すことができ
ない方、食事・嚥下が難しくなった方を中心にリハビリをしています。
学生時代に習ったこと以外にも他職種のこと、病気の知識などについて
勉強の毎日を送っています。当院のリハビリテーション科は若いスタッフ
が多く、活気に満ち溢れています。



■こんなこともしています

年間を通じて院内では多数のイベントを行っており、積極的に参加しています。私は趣味で
オカリナを吹いていますので、クリスマス会や夏祭りで演奏する機会があります。演奏中は音楽
にあわせて大勢の患者さんが一緒に歌ってくれたり、素敵な笑顔を見せてくれます。リハビリ室
以外でも患者さんと接する機会が多く、こういったイベントを通じて患者さんが笑顔になっ
てくれることにも最近はやりがいを感じています。

